

北陸／東海／近畿

富山県

都道府県のPDCAサイクル確保に向けた活動の関連資料

平成 28 年度富山県がん診療連携協議会作業部会活動実績報告書

1. 部会名	研修部会	2. 部会長病院(部会長)	富山大学附属病院(菓子井達彦 集学的がん診療センター長、臨床腫瘍部長)
3. 部会メンバー			
黒部市民病院	岩田 啓子(消化器外科部長、乳腺外科部長)、高山 由紀子(看護部副部長)、清水 亜希子(総務課主査)		
富山労災病院	角谷 直孝(副院長・外科部長)、馬淵 典子(看護副部長)、天野 裕樹(総務課庶務係長)		
富山市民病院	石浦 嘉久(腫瘍内科部長)、岡田 恵子(副看護部長)、野田 大樹(経営管理課主査)		
富山大学附属病院	菓子井 達彦(集学的がん診療センター長、臨床腫瘍部長)、長木 雅子(副看護部長)、三村 泰彦(副薬剤部長)、黒田 景一(病院総務課係長)		
厚生連高岡病院	柴田 和彦(総合的がん診療センター長、腫瘍内科部長)、前田 誉子(総合的がん診療センター看護師長)、栗原 英樹(総務課長)		
高岡市民病院	山川 義寛(医療局長)、釣 要吏子(副看護師長)、岩城 勇佑(総務課 主事)		
市立砺波総合病院	西嶋 博司(がん診療部長、放射線治療科部長)、中川 裕美子(看護部科長)、小幡 裕之(がん診療部主任)		
富山県立中央病院	清水 康一(副院長)、高長 雅美(看護部看護研修科長)、中島 聡美(経営管理課管理係主事)		
済生会高岡病院	吉田 徹(外科部長)、山田 真由美(看護主任(乳がん認定看護師))、中瀬 剛司(経営管理室係長)		
富山赤十字病院	芝原 一繁(第1外科部長)、江尻 昌子(看護副部長)、酒井 陽輔(人事係長)		
オブザーバー	坂口 実(県健康課がん対策推進班長)、亀田 翔太(県健康課がん対策推進班主任)		
4. 開催実績			
回	開催日・場所	出席者数	協議の概要
第一回	平成 28 年 7 月 6 日 富山大学附属病院総合臨床教育センター2 階多目的研修室	25 名	・平成 28 年度研修計画について
第二回	平成 29 年 2 月 21 日 富山大学附属病院 3 階大会議室(中)	29 名	・平成 28 年研修実績について
5. 活動成果			
1) 平成 28 年度の各拠点病院の研修計画をまとめ、これにもとづいた研修が円滑に実施出来るように協議・調整を行った。			
2) 緩和ケア医療の推進を目的とした研修会を計画し、平成 29 年 1 月 28 日に「緩和ケアフォローアップ研修会」を開催した。			
6. 今後の課題			
引き続き、多職種でのがんチーム医療の充実と患者中心のがん医療の推進をはかるために、研修・教育体制の強化をはかる。			
7. PDCAの取組み			
P	富山県における、がん診療に関わる研修・教育についての計画の取りまとめを図った。(富山大学附属病院)		

	<p>がん医療の推進のため、研修・教育体制の強化。(高岡市民病院)</p> <p>院内と地域の医師、看護師の緩和ケア及びがん看護の質の向上を図る。(黒部市民病院)</p> <p>研修計画をまとめ、これに基づいた研修が円滑に実施できるように協議・調整を行った(第1回研修部会)。(県立中央病院)</p> <p>多職種でがんチーム医療の充実をはかるため、研修、教育体制を強化。(富山市民病院)</p> <p>多職種での講演会・研修会の年間計画の作成。(富山労災病院)</p> <p>症例検討会で化学療法症例を加えるなど演題を工夫し、開業医との連携強化、患者中心のがん医療の推進、がんチーム医療の充実を図る。(済生会高岡病院)</p>
D	<p>拠点病院間で意見を調整し、がん診療に関わる講演会、研修会などを実施した。(富山大学附属病院)</p> <p>受入及び派遣研修の計画をまとめ、研修が円滑に実施できるよう調整する。(高岡市民病院)</p> <p>緩和ケア研修会及びがん看護研修を年1回開催した。(黒部市民病院)</p> <p>各拠点病院が連携して、計画に沿って研修会などを実施した。(県立中央病院)</p> <p>がんリハビリテーション研修の受講チーム数を増加 1年に1チーム出していく／多職種を含む緩和ケア研修の開催／がん看護臨床実践研修の研修生受け入れ、派遣／がんセンターボードを毎月開催。(富山市民病院)</p> <p>多職種での講演会・研修会の実施。(富山労災病院)</p> <p>手術症例以外にも化学療法症例なども演題に加えた。(済生会高岡病院)</p>
C	<p>実施した講演会、研修会について、アンケート調査などで評価を行った。(富山大学附属病院)</p> <p>研修が計画通り実施されたか確認。(高岡市民病院)</p> <p>研修会の評価はアンケート調査結果により評価した。(黒部市民病院)</p> <p>計画どおりに研修できたか、年間の研修実績を確認した(第2回研修部会)。(県立中央病院)</p> <p>がんリハビリテーション研修 1チーム 3月受講予定／緩和ケア研修修了者 医師 12名 看護師 5名 他職種 4名(平成28年度の当院の修了者数)／がん看護臨床実践研修 研修生受け入れ 12名 派遣 2名／がんセンターボード参加人数 医師 127名 看護師 50名 他職種 46名。(富山市民病院)</p> <p>委員会による取組結果の評価。患者紹介状況、逆紹介情報の分析。(富山労災病院)</p> <p>症例検討会終了後、アンケート等で症例検討会を評価。(済生会高岡病院)</p>
A	<p>富山県全体として、今後必要となる研修・教育について部会内外からの意見を集約し、改善点などを話し合った。(富山大学附属病院)</p> <p>計画に沿って実施できなかった研修についての原因の調査と対策。(高岡市民病院)</p> <p>アンケートの評価から研修内容の見直しを行い、参加者の増加を図るための対応策を検討する。(黒部市民病院)</p> <p>計画どおりに研修できなかったものや、もっと研修を充実させたほうがよいものについて、次年度の研修計画に反映する。(県立中央病院)</p> <p>引き続き研修・教育体制の強化をはかる。(富山市民病院)</p> <p>委員会の評価結果による取組計画の見直し。病院連携、病診連携の強化。(富山労災病院)</p> <p>アンケートの内容から、今後の演題を計画。多職種(看護師、コメディカル)の参加を促し、各職種の専門的意見の収集等により、スキルアップや連携強化を図る。(済生会高岡病院)</p>
8. 来年度の部会長病院(案)	富山大学附属病院

平成 28 年度富山県がん診療連携協議会作業部会活動実績報告書

1. 部会名	がん登録	2. 部会長病院(部会長)	富山市民病院 (副院長・科部長 藤村 隆)
3. 部会メンバー			
黒部市民病院	中田 明夫(循環器内科部長・医療情報部長) 南保 寛子(診療情報管理士)		
富山労災病院	角谷 直孝(副院長・外科部長) 濱元 清美(診療情報管理士)		
富山市民病院	藤村 隆(副院長・科部長) 村栄 正輝(医療情報管理室室長代理) 中川 理恵(診療情報管理士)		
富山大学附属病院	中川 肇(経営情報企画部長) 菓子井 達彦(臨床腫瘍部部長) 細川 歩(第三内科診療教授) 絹石 達也(医事課長) 梁沢 智美(集学的がん診療センター)		
厚生連高岡病院	柴田 和彦(腫瘍内科診療部長) 宮田 吉高(医療情報部部長) 駒崎 絵美(診療情報管理士)		
高岡市民病院	中谷 敦子(消化器内科主任部長) 田中 裕子(医事課 診療情報管理士)		
市立砺波総合病院	西嶋 博司(がん診療部部長) 竹田 智代(診療情報管理士) 田中 有佳(診療情報管理士)		
富山県立中央病院	石澤 伸(病理診断科部長) 宮本 賢司(医事課 医事係長) 砂原 恭子(病歴管理科 副主幹)		
済生会高岡病院	吉田 徹(外科部長) 中瀬 剛司(経営管理室 係長) 品川 恵里子(診療情報管理士)		
富山赤十字病院	佐々木 正寿(副院長) 坂井 明広(医療情報企画課長) 藤井 隆嘉(医療情報企画課 主任) 林 麻衣(医療情報企画課 委託職員)		
富山県厚生部	加納 紅代(厚生部参事 厚生課感染症・疾病対策班長) 坂口 実(健康課 がん対策推進班長) 亀山 敦子(健康課 がん対策推進班副主幹) 亀田 翔太(健康課 がん対策推進班)		
4. 開催実績			
回	開催日・場所	出席者数	協議の概要
第一回	平成 28 年 6 月 20 日 富山市民病院 講堂	20 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告 ・ 健康課からの報告(全国がん登録について)
第二回	平成 29 年 2 月 24 日 富山市民病院 集団指導室	17 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 院内がん登録 2014 年症例全国集計(富山版)の情報共有 ・ 2016 年症例からの院内がん登録システム・Casefindingについて情報共有

5. 活動成果

- 1) 国立がんセンターで開催された「第1回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会」の報告があり、現状、今後の予定など情報共有を行った。
- 2) 県健康課から「全国がん登録」の提出形式について情報共有を行った。
- 3) 富山県の2014年症例全国集計及び、2016年症例からの全国がん登録について情報共有を行った。
- 4) 「がん登録実務者講習会」は県診療情報権利研究会と共催の予定。

6. 今後の課題

- 1) 2015年院内がん登録・2016年全国がん登録・5年予後調査・3年予後調査の情報共有・分析を図る。
- 2) 県推薦以外の症例数が多い病院の、がん登録部会参加の検討。

7. PDCAの取組み

P	がん登録について情報共有を行う。
D	がん登録作業部会を年2回開催する。
C	事業報告、今後の予定、富山県の2014年症例全国集計、2016年症例からの院内がん登録システム・Casefindingについて情報共有を行った。
A	・2015年院内がん登録・2016年全国がん登録・5年予後調査・3年予後調査の情報共有・分析を図る。 ・県推薦以外の症例数が多い病院の、がん登録部会参加の検討。

8. 来年度の部会長病院

厚生連高岡病院

平成28年度富山県がん診療連携協議会作業部会活動実績報告書

1. 部会名 相談支援部会 **2. 部会長病院(部会長)** 黒部市民病院(血液内科部長 高松 秀行)

3. 部会メンバー

富山労災病院	消化器科部長 新藪 吉成、外来看護師 宮島 玲子 医事課長 伊東 康、相談員(看護師)金坂 江梨
富山県立中央病院	医療相談室長(外科部長) 加治 正英、看護部診療看護科長 吉沢 紀子 地域連携室主幹 山口 郁子、緩和ケアセンター部上席看護師長 酒井 裕美
富山市立富山市民病院	医療相談室部長 高瀬 育和、地域医療連携室看護師長 境 信子 医療ソーシャルワーカー 八木 智矢、相談員(看護師) 谷川 二美子
富山赤十字病院	化学療法センター長 呼吸器・アレルギー内科部長 岩佐 桂一 化学療法センター看護師長 寺井 由加里、医療社会事業課長 高柳 裕子 相談員(看護師) 菱 彩弥
富山大学附属病院	がん相談・地域連携部門長 峯村 正実、医療福祉サポートセンター看護師長 瀬川 美香子 がん相談支援センター副看護師長 林 直美、医療ソーシャルワーカー 伊井 瑞穂 相談員(事務) 川向 恵美子
高岡市民病院	外科主任部長 堀川 直樹、看護師長 本間 律子 地域医療部副主幹 細川 紀子、相談員(看護師長)飯澤 泉
富山県済生会高岡病院	外科部長 吉田 徹、医療社会事業課課長補佐(社会福祉士) 藤川 泰永 看護師 生源 正美
市立砺波総合病院	がん診療部長 西嶋 博司、地域医療連携室主査(社会福祉士)小竹 実穂 相談員(がん看護専門看護師)平 優子、がん診療部主任(事務)小幡 裕之
厚生連高岡病院	総合的がん診療センター長代理 腫瘍内科診療部長 柴田 和彦 総合的がん診療センター副看護師長(相談員) 前田 誉子
黒部市民病院	血液内科部長 高松 秀行、地域医療保健室副看護師長(相談員) 藤田 由紀江 総務課主任 清水田 千春
オブザーバー	新川厚生センター、中部厚生センター、高岡厚生センター、砺波厚生センター 富山市保健所、富山県健康課、がん総合相談支援センター

4. 開催実績

相談支援部会	回	開催日・場所	出席者数	協議の概要
	第一回	平成28年7月29日 富山県民会館 704会議室	32名	・平成27年度相談支援部会の実績および活動報告 ・平成28年度相談支援部会取り組み事項について がん総合支援事業、ピアサポートに関する事業 等
第二回	平成29年2月17日 富山県民会館 612会議室	33名	・平成28年度相談支援部会の実績および活動報告 がん総合支援事業、ピアサポートに関する事業 等 ・平成29年度相談支援部会の活動について	

5. 活動成果

- ・各拠点病院に、がん相談支援センターの周知を目的とした院内学習会の実施計画をアンケートにより調査。
- ・がん相談支援センターの院内周知を目的とした院内学習会の実施予定計画を作成。
- ・がん相談支援センターの院内周知を目的とした院内学習会を一部の拠点病院で実施。

6. 今後の課題

- ・がん相談支援センターの院内周知を引き続き強化する。
- ・がん相談支援センターの院外周知方法を考案する。
- ・がん患者の就労支援について

6. 今後の課題

- P 各拠点病院におけるがん相談支援センターの周知
- D がん相談支援センターの院内周知を目的とした院内学習会の実施
- C 各拠点病院の意見を収集
- A 次年度以降、各拠点病院が院外周知を目的とした取り組み方法を考える

7. 来年度の部会長病院 富山労災病院

平成 28 年度富山県がん診療連携協議会作業部会活動実績報告書

1. 部会名	地域連携クリティカル パス部会	2. 部会長病院(部会長)	富山県立中央病院(副院長 清水 康一)
3. 部会メンバー			
黒部市民病院	河岸 由紀男 (呼吸器内科部長/肺) 辻 宏和 (消化器内科部長/肝) 山本 真也 (次長・総務課長)	月岡 雄治 (消化器外科部長/胃・大腸) 岩田 啓子 (消化器外科部長・乳腺外科部長/乳)	
富山労災病院	川崎 聡 (呼吸器科部長/肺) 経田 淳 (外科第二外科部長/胃・大腸、乳) 伊東 康 (医事課長)	八木 満 (内科消化器科副部長/胃・大腸) 新敷 吉成 (内科消化器科部長/肝)	
富山市民病院	瀬川 正孝 (呼吸器・血管外科部長/肺) 藤村 隆 (消化器外科部長/胃・大腸) 吉川 朱実 (乳腺外科・部長/乳) 米田 航平 (医事課・主事)	石浦 嘉久 (腫瘍内科部長/肺) 蓑内 慶次 (内科部長/胃・大腸) 樋上 義伸 (消化器内科部長/肝)	
富山大学附属病院	菓子井 達彦 (臨床腫瘍部長・特命教授/肺) 細川 歩 (第三内科講師/胃・大腸) 北條 荘三 (第二外科助教/大腸) 吉岡 伊作 (第二外科 集中治療部・助教/肝) 黒田 景一 (病院総務課係長)	本間 崇浩 (第一外科副科長・助教/肺) 奥村 知之 (第二外科副科長・助教/胃) 峯村 正実 (第三内科副科長・講師/肝) 長田 拓哉 (第二外科副科長・講師・診療科長/乳)	
厚生連高岡病院	柴田 和彦 (腫瘍内科診療部長/肺) 原 拓央 (外科診療部長/胃・大腸) 澤田 幸一郎 (外科医長/胃) 加藤 洋介 (外科部長/肝) 三可 浩史 (地域医療連携室係長)	谷内 毅 (胸部外科部長/肺) 小竹 優範 (外科部長/大腸) 寺田 光宏 (消化器科診療部長/肝) 尾山 佳永子 (外科部長/乳)	
高岡市民病院	辻本 優 (胸部・血管外科主任部長/肺) 馬渡 俊樹 (外科部長/大腸) 福島 亘 (外科 主任部長/乳)	堀川 直樹 (外科主任部長/胃) 伊藤 博行 (消化器内科主任部長/肝) 今井 隆 (医事課長)	
市立砺波総合病院	毛利 亮祐 (外科医員/肺) 家接 健一 (外科部長/大腸) 清原 薫 (副院長・外科主任部長/乳)	浅海 吉傑 (外科部長/胃) 岡村 利之 (内科部長/肝) 小幡 裕之 (がん診療部主任)	
富山県立中央病院	宮澤 秀樹 (呼吸器外科部長/肺) 渡邊 利史 (外科医長/大腸) 前田 基一 (外科部長/乳)	加治 正英 (外科部長/胃) 酒井 明人 (内科部長/肝) 中島 聡美 (経営管理課主事)	
済生会高岡病院	吉田 徹 (外科部長/肺、胃、大腸、肝、乳) 寺崎 禎一 (診療部長/肝)	中瀬 剛司 (経営管理室グループ係長)	
富山赤十字病院	小林 孝一郎 (呼吸器外科部長/肺) 圓谷 朗雄 (第一消化器内科部長/胃・大腸) 芝原 一繁 (第一外科部長/胃・大腸、肝) 岡田 和彦 (肝臓内科部長/肝) 高柳 裕子 (医事サービス課長)	岩佐 桂一 (内科呼吸器・アレルギー内科部長/肺) 品川 和子 (第二消化器内科部長/胃・大腸) 竹原 朗 (第二外科副部長/胃・大腸、乳) 野崎 善成 (第三外科部長/乳)	
オブザーバー	坂口 実 (がん対策推進班班長)	亀田 翔太 (がん対策推進班主任)	

4. 開催実績			
回	開催日・場所	出席者数	協議の概要
第一回	平成 28 年 10 月 18 日 富山県民会館 704号室	36 名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携パスの運用状況について ・パス利用増の方策について
第二回	平成 29 年 3 月 7 日 富山県民会館 611号室	35 名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携パスの運用状況について ・パス利用増の方策及び今後の進め方について ・平成 29 年度の部会長病院の選出について
5. 活動成果			
<ul style="list-style-type: none"> ・パスの利用を増やすため、開業医等へ積極的に働きかけた。 ・各拠点病院の運用状況を報告し、パスの利用を増やすための方策について意見交換を行った。 			
6. 今後の課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・パス適用数の増加及び今後の利用増を図るための取組みについて検討。 			
7. PDCAの取組み			
P	パスの利用実績を増やす		
D	パスの利用を増やすため、開業医等へ積極的に働きかけた。		
C	1 年間のパスの利用実績をとりまとめ、部会で意見交換・情報共有を行った。 がん種や病院によっては成果がみられた。		
A	がん種ごとに会議を開き、その特性に応じた工夫を検討する。		
8. 来年度の部会長病院(案)		富山県立中央病院	

平成 28 年度富山県がん診療連携協議会作業部会活動実績報告書

1. 部会名	緩和ケア部会	2. 部会長病院(部会長)	富山大学附属病院(菓子井達彦 集学的がん診療センター長、臨床腫瘍部長)
3. 部会メンバー			
黒部市民病院	岩田 啓子(消化器外科部長、乳腺外科部長)、高山 由紀子(看護部副部長)、清水 亜希子(総務課主査)		
富山労災病院	川崎 聡(呼吸器科部長)、浜田 晶子(看護師長補佐)、本郷 宏志(総務課長)		
富山市民病院	船木 康二郎(緩和ケア内科部長)、島 佳子(看護科副看護師長)、飯田 泰弘(経営管理課主事)		
富山大学附属病院	菓子井 達彦(集学的がん診療センター長、臨床腫瘍部長)、梶浦 新也(臨床腫瘍学講座 特命助教)、林 直美(副看護師長)、黒田 景一(病院総務課係長)		
厚生連高岡病院	村上 望(緩和ケアセンター センター長)、浦上 裕美(緩和ケアセンター主任看護師)、吉田 和央(総務課 係長)		
高岡市民病院	辻本 優(胸部血管外科主任部長)、河上 裕子(看護師長)、岩城 勇佑(総務課 主事)		
市立砺波総合病院	金木 昌弘(緩和ケア科部長)、高島 留美(看護部)、小幡 裕之(がん診療部主任)		
富山県立中央病院	渡辺 俊雄(緩和ケアセンター部長)、酒井 裕美(緩和ケアセンタージェネラルマネージャー)、中島 聡美(経営管理課管理係主事)		
済生会高岡病院	吉田 徹(外科部長)、木津 真弓(看護部)、中瀬 剛司(経営管理室係長)		
富山赤十字病院	小林 孝一郎(呼吸器外科部長)、村上 真由美(看護師長)、岡 真由美(総務課 事務主任)		
オブザーバー	坂口 実(県健康課がん対策推進班長)、亀田 翔太(県健康課がん対策推進班主任)		
4. 開催実績			
回	開催日・場所	出席者数	協議の概要
第一回	平成 28 年 5 月 26 日 富山大学附属病院総合臨床教育センター 2 階多目的研修室	26 名	<ol style="list-style-type: none"> 各拠点病院における本年度緩和ケア研修会準備状況について 在宅緩和ケア地域連携パスについて コミュニケーション技術研修会(CST)富山県個別開催について 緩和ケア市民公開講座(仮題)共催について
第二回	平成 28 年 9 月 6 日 富山大学附属病院総合臨床教育センター 2 階多目的研修室	28 名	<ol style="list-style-type: none"> 緩和ケア研修会実施状況および修了状況について 今後の緩和ケア研修会開催予定と受講受け入れについて 緩和ケア合同検討会議について 緩和ケアフォローアップ研修会について
第三回	平成 28 年 12 月 26 日 富山大学附属病院総合臨床教育センター 2 階多目的研修室	25 名	<ol style="list-style-type: none"> 緩和ケア研修会修了状況について 緩和ケア合同検討会議等の開催状況について 今年度の今後の予定確認
第四回	平成 29 年 2 月 28 日 富山大学附属病院総合臨床教育センター 2 階多目的研修室	32 名	<ol style="list-style-type: none"> 緩和ケア研修会修了状況及び合同検討会議開催状況について 来年度の緩和ケア研修会の開催予定について 富山県在宅緩和ケア地域連携パス説明会について
5. 活動成果			
<p>1) 緩和ケア研修会について、より多くの人に参加してもらい、充実した内容にしていくための方策について情報交換を行った。</p> <p>2) 平成 29 年度の各拠点病院の緩和ケア研修会の日程をとりまとめ、研修が円滑に実施できるように協議・調整を行った。</p>			

- 3) 富山県統一在宅緩和ケア地域連携パスの運用を目指して、ワーキンググループを立ち上げ検討を行った結果、富山県統一パス「たてやま日記」の運用が決定した。
- 4) 緩和ケア合同検討会議の実施状況と今後の課題について意見交換をした。
- 5) 緩和ケア市民公開講座について、緩和ケア部会との関係について意見交換をし、緩和ケア部会の共催として開催した(平成29年2月19日)。

6. 今後の課題

- 1) 緩和ケア研修会及びフォローアップ研修会についての協議・調整を引き続き行い、研修体制の強化に努める。
- 2) 緩和ケア合同検討会議が円滑に開催されるように協議・調整を行う。
- 3) 富山県統一在宅緩和ケア地域連携パス「たてやま日記」の運用拡大に向け、協議・調整を行う。

7. PDCAの取組み

- | | |
|---|--|
| P | <p>①全ての拠点病院で、厚生労働省の平成27年3月12日付の通達にある緩和ケア研修会の修了要件(がん患者の主治医や担当医となる者:90%、初期臨床研修2年目から初期臨床研修修了後3年目までの医師:全て、病院長)が達成できるようにする。また、研修会の要件となる緩和ケア合同検討会議について、開催計画を調整した。</p> <p>②福井県で運用している在宅緩和ケア地域連携パス「やわらぎ日記」をベースに富山県統一パス「たてやま日記」の作成を目指し、ワーキンググループを再結成し、協議した。</p> |
| D | <p>①緩和ケア研修会修了要件の達成に向けて、情報収集、意見交換、調整を行った。富山大学附属病院では、他の拠点病院の医師を積極的に受け入れ、緩和ケア研修会を計3回開催した。緩和ケア合同検討会議も全ての拠点病院で開催した。</p> <p>②ワーキンググループのメンバーに意見を聴取した。</p> |
| C | <p>①緩和ケア部会において、各拠点病院医師の緩和ケア研修会修了状況及び、緩和ケア合同検討会議の開催状況を報告、情報共有をした。(別紙)</p> <p>②ワーキンググループの意見を部会で共有し、問題点などの意見交換を行った。</p> |
| A | <p>①緩和ケア研修会修了率の達成に向けた今後の予定について確認した。富山大学附属病院では、平成29年6月時点での要件達成に向けて、富山県立中央病院などと協力し、5月中に未修了医師、研修医に対する緩和ケア研修会の開催を計画している。</p> <p>②部会での意見を踏まえ、「たてやま日記」の普及拡大を目指して、富山県内の公的病院、在宅緩和ケア医療従事者等に周知し、説明会を開催した(平成29年3月15日)。</p> |

8. 来年度の部会長病院(案)

富山大学附属病院